

第3節

現状(ダム・河道整備状況)で大雨
が降ったときに想定される洪水量

1. 降雨量と流量との関係

1.1 基準となる洪水の選定

整備計画の基準となる洪水型

⇒昭和28年9月型

- 既往の洪水のうち被害が最大であった
- 現在襲来した場合に最大の流量となる洪水

1. 降雨量と流量との関係

1.1 基準となる洪水の選定

昭和28年9月洪水 破堤の状況



宇治川左岸(京都府久世郡久御山町) の破堤による浸水

1. 降雨量と流量との関係

1.1 基準となる洪水の選定

洪水毎の地点別流量一覧表

洪水名	実績総雨量 (mm) (枚方地点)	想定される流量			
		淀川 (枚方)	木津川 (加茂)	桂川 (羽束師)	宇治川 (宇治)
昭和28年9月型 (台風13号)	249	7,600	4,300	2,500	1,100
昭和31年9月型 (台風15号)	176	4,500	3,400	970	710
昭和33年8月型 (台風17号)	171	5,100	3,900	770	910
昭和34年8月型 (台風7号)	272	6,200	3,500	2,100	950
昭和34年9月型 (台風15号; 伊勢湾台風)	215	6,300	4,100	1,700	700
昭和35年8月型 (台風16号)	179	3,400	1,100	2,300	270
昭和36年10月型 (前線及台風)	251	6,800	4,300	1,800	880
昭和40年9月型 (台風24号)	203	6,200	3,900	2,000	860
昭和57年8月型 (台風10号)	231	6,200	4,000	1,400	950

■ いずれの地点も昭和28年9月型が最大となる

1. 降雨量と流量との関係

1.2 流域平均雨量と流量

■ 流域平均雨量とは

地点雨量とは、地上観測しているその地点の降雨量

解析

1. 算術平均法
2. ティーセン法
3. 等雨量線法
4. 代表係数法

流域平均雨量とは、地点雨量を流域全体で平均した降雨量

1. 降雨量と流量との関係

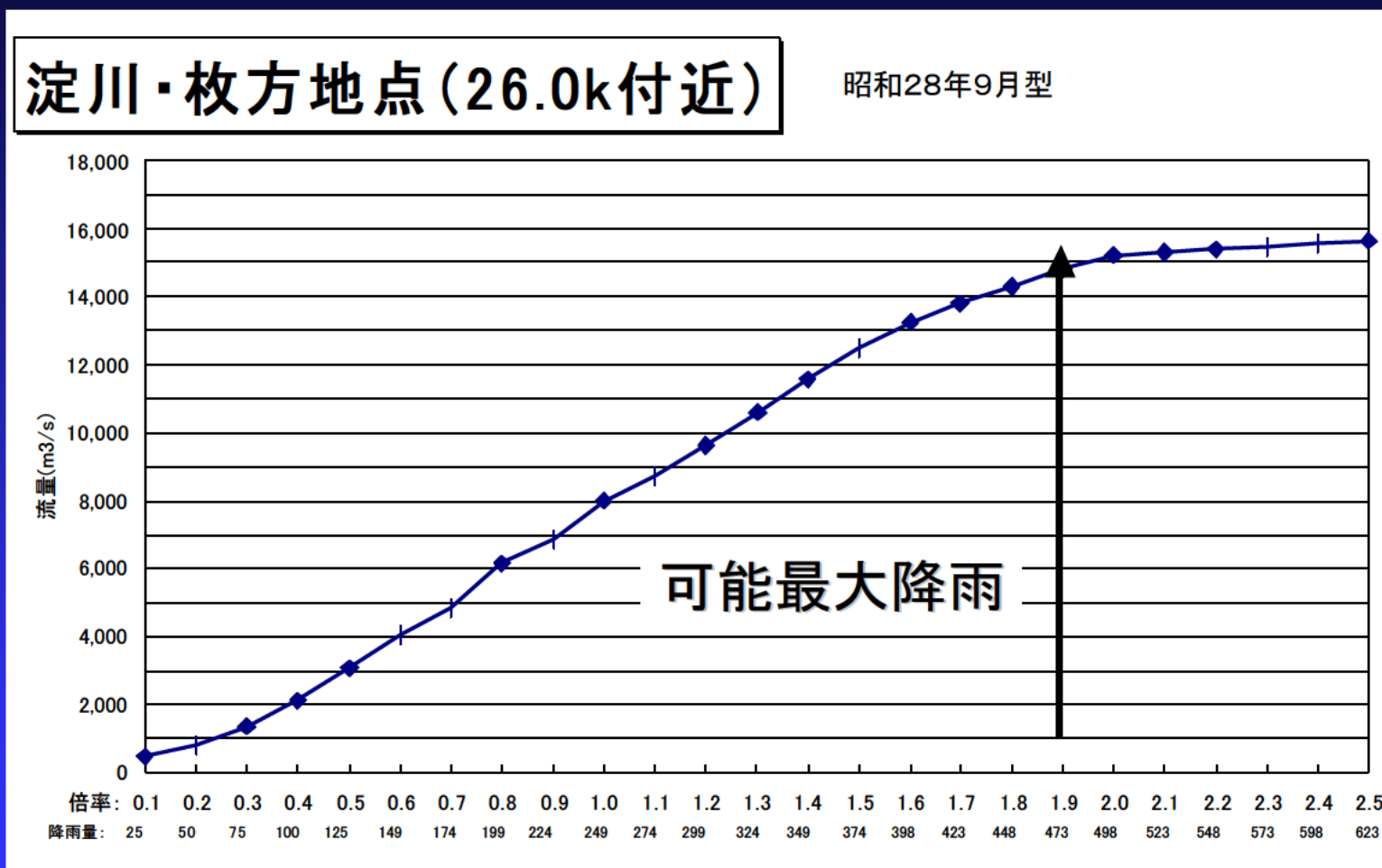
1.3 降雨量(1割増 2割増..) と流量との関係

雨量から流量への変換

- 天ヶ瀬ダム等は現在の操作方法
- 洪水調節が不可能になる程ダムへの流入量が大きくなった場合は、流入量＝放流量
- 瀬田川洗堰を全閉することにより、琵琶湖からの洪水は、下流に流下しない
- 河道(川の中で洪水を流すことのできる部分) は、現時点の状態を想定
- 上流部河道で氾濫するため下流に流下する流量は減少する

1. 降雨量と流量との関係

1.3 降雨量(1割増 2割増..) と流量との関係



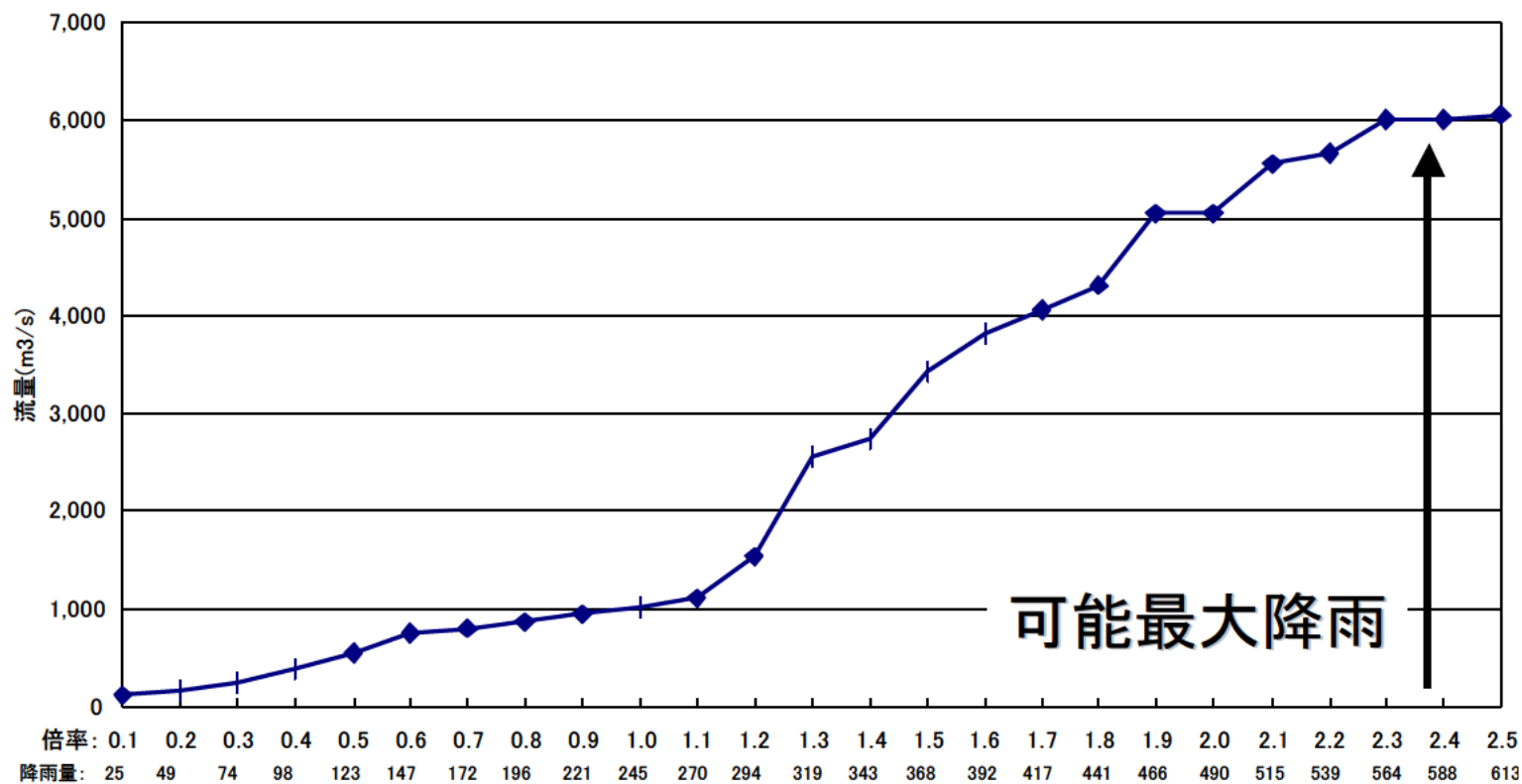
- ・ 上流ダム群現行操作
- ・ 上流河道の氾濫あり

1. 降雨量と流量との関係

1.3 降雨量(1割増 2割増..)と流量との関係

宇治川・宇治地点(50.8k付近)

昭和28年9月型



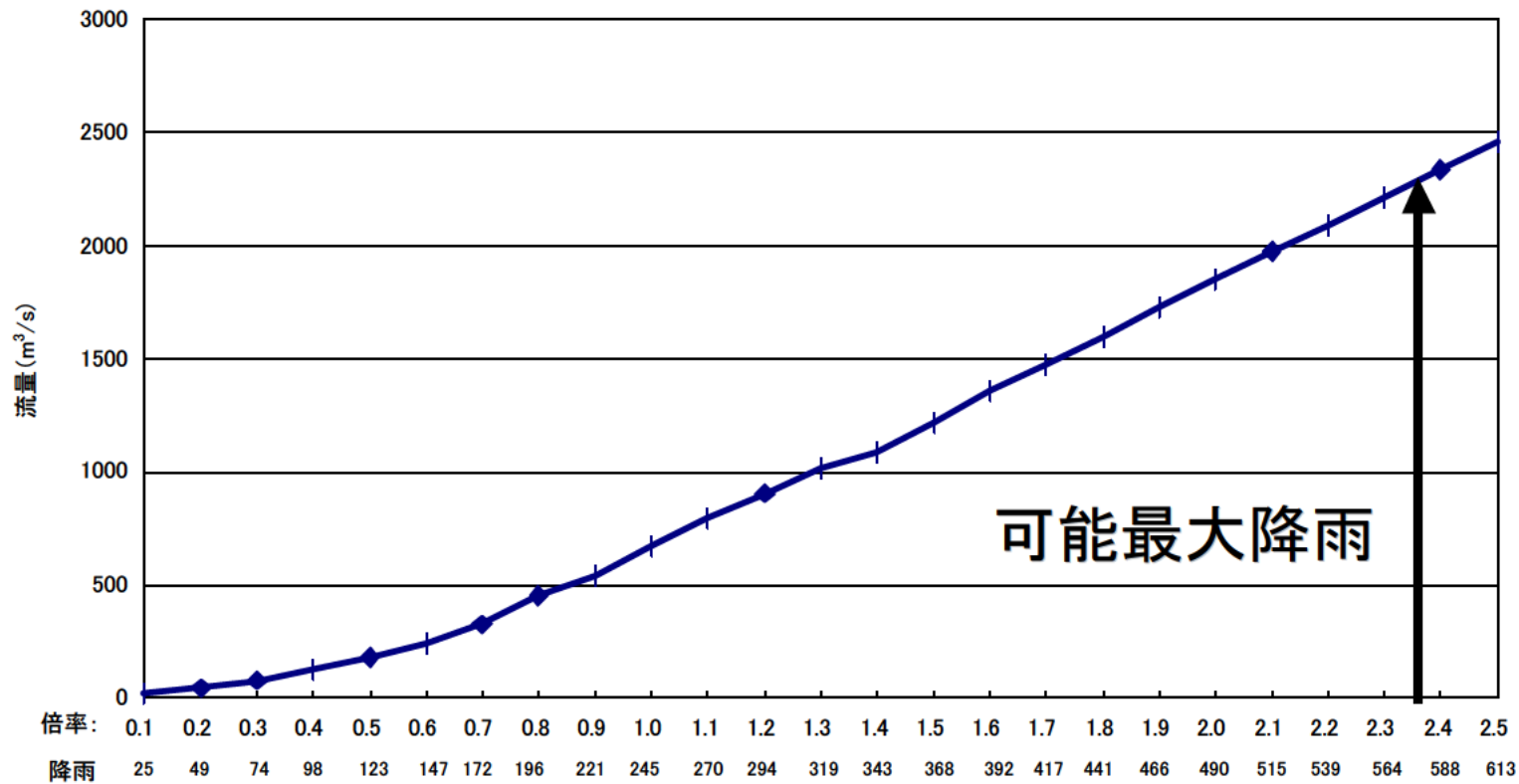
- ・ 上流ダム群現行操作
- ・ 上流河道の氾濫あり

1. 降雨量と流量との関係

1.3 降雨量(1割増 2割増..) と流量との関係

瀬田川・関ノ津地点(68.8k付近)

昭和28年9月型



- 上流河道の氾濫あり
- 瀬田川洗堰からの放流量は0m³/s

1. 降雨量と流量との関係

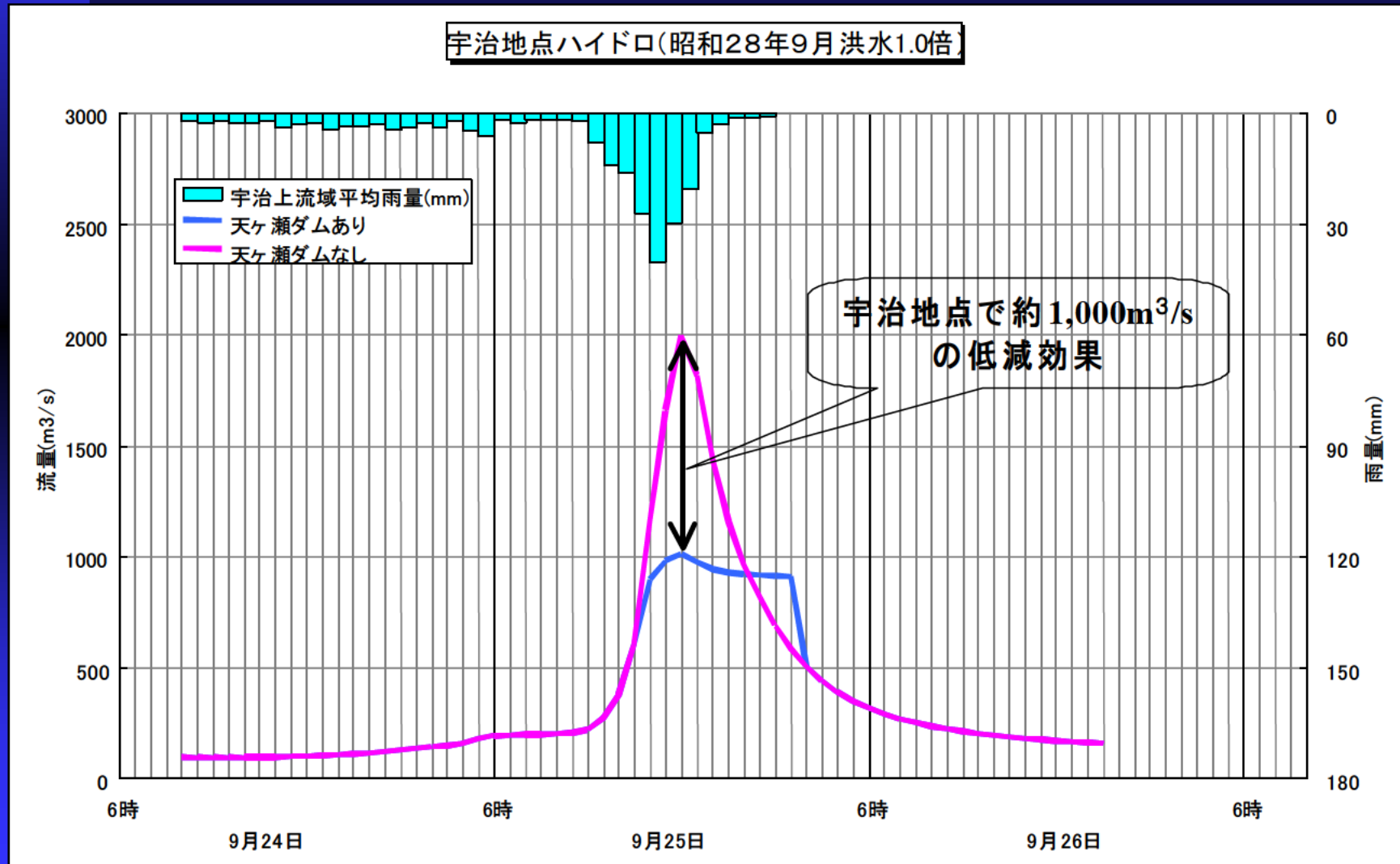
1.3 降雨量(1割増 2割増..)と流量との関係

■ 可能最大降雨

過去に起こった近畿地方の降雨量から、各流域において最大限、降る可能性のある降雨量の目安を推定したもの

1. 降雨量と流量との関係

1.4 ダム等の最大効果量



1. 降雨量と流量との関係

1.4 ダム等の最大効果量

